

下和田翔平選手が柔道グランプリ大会で銅メダル獲得

7月4日から3日間にわたりモンゴルで柔道の国際大会「グランプリ・ウランバートル」が行われ、男子90kg級に出場した京葉ガス柔道部の下和田翔平選手が銅メダルを獲得しました。

(写真)メダルを手にする下和田選手

モンゴルのウランバートルで3日間にわたり柔道のグランプリ大会が開かれ、27カ国から各国代表の男子165選手、女子117選手が出場しました。

下和田選手は最終日の6日、男子90kg級に出場しました。初戦の2回戦を勝ち上がると、続く3回戦では第1シードで世界ランキング4位(6月30日付)のデニソフ選手(ロシア)に一本勝ちしました。準決勝ではトス選手(ハンガリー)に優勢負けを喫したものの、3位決定戦で勝利し、銅メダルを獲得しました。

今大会を振り返り下和田選手は「3回戦で強豪に勝利したのに優勝を逃したのは悔しいし、反省点」としながらも、「いままで練習してきた成果を試合で発揮できたところもあり収穫があった。次の国内での試合でしっかり結果を残し、また日本代表になれるようしっかり練習に励みたい」と話しました。

